

2024年12月期 第1四半期  
決算説明資料

2024年5月10日

株式会社トレードワークス  
証券コード：3997

1. 2024年12月期 第1四半期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2024年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年
6. appendix

## 2024年12月期 第1四半期 概況

---

## 2024年12月期 第1四半期 連結業績

売上高

1,066百万円

998百万円

営業利益

▲65百万円

(前年同期の業績数値)

62百万円

四半期純利益

▲105百万円

44百万円

- 顧客企業の旺盛なIT投資需要の獲得や新規顧客開拓が進展したものの、第1Qで計画していた一部案件の検収遅れが生じ、売上高は、前年同期比で約7%の増収に留まる。
- 売上が第2Q以降にずれ込む中、人材やセキュリティ関連の成長投資は計画通り実行していることや原価上昇の影響もあり、営業利益は、前期比で約1.3億減少。
- 投資フェーズにあるデジタルコマースを初めとする新領域のビジネスにおいては、開発、販促のコストが先行しているものの、今後の収益貢献に向け着々と準備が進む。

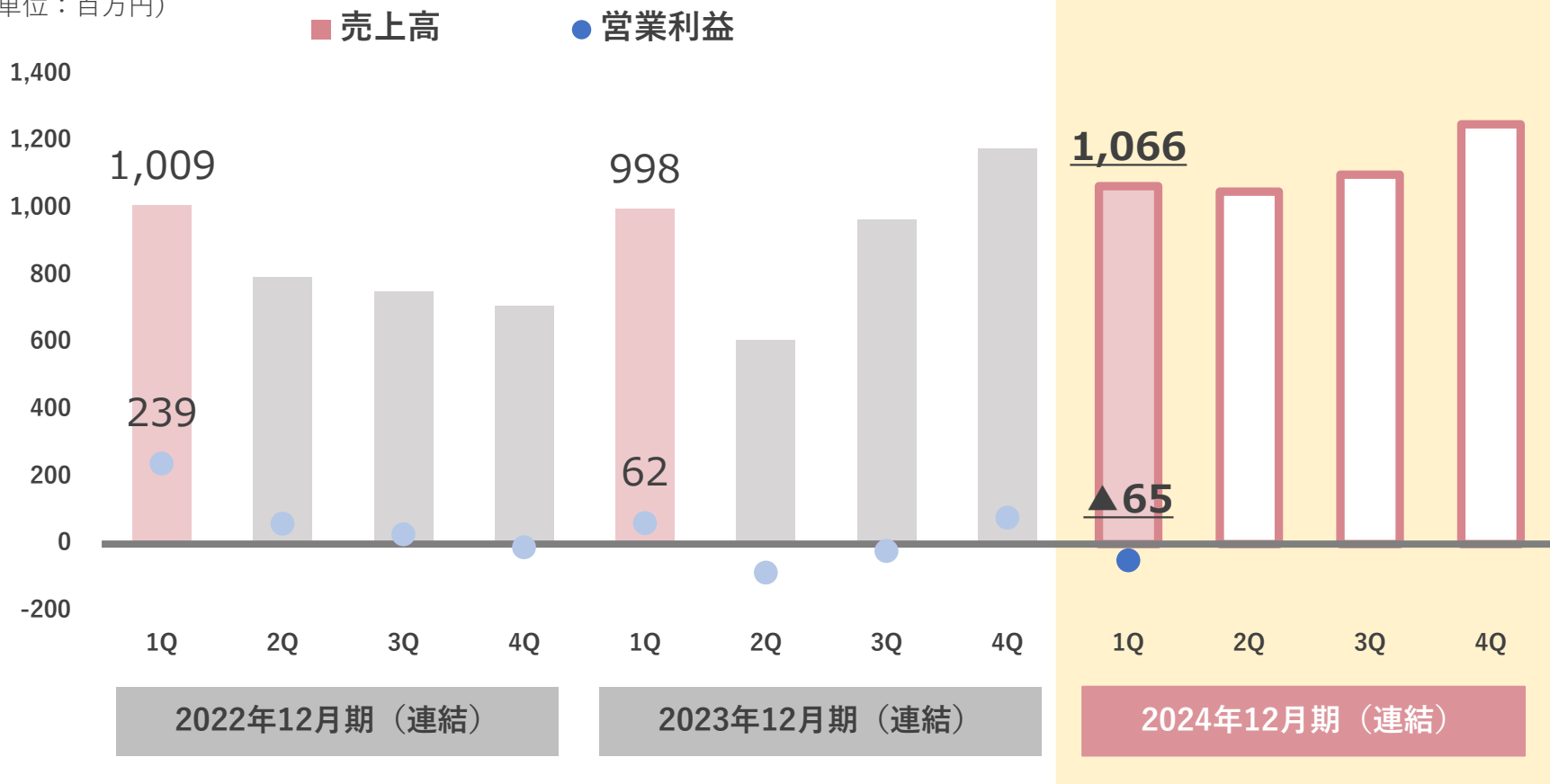
一部の開発案件で、第2Q以降への納期ずれが生じたものの、通期計画に対する第1Q時点の売上進捗は、24.2%と計画の範疇で推移。第1四半期利益については、各種先行投資の影響などを受け前年同期比で減益となるものの、第2Q以降で高採算案件の納品を見込む。

(単位：百万円)	2023.12期 1Q	2024.12期 1Q	2024.12期 通期予想
売上高	998	1,066	4,400
営業利益	62	▲65	180
経常利益	62	▲65	180
四半期純利益	44	▲105	110

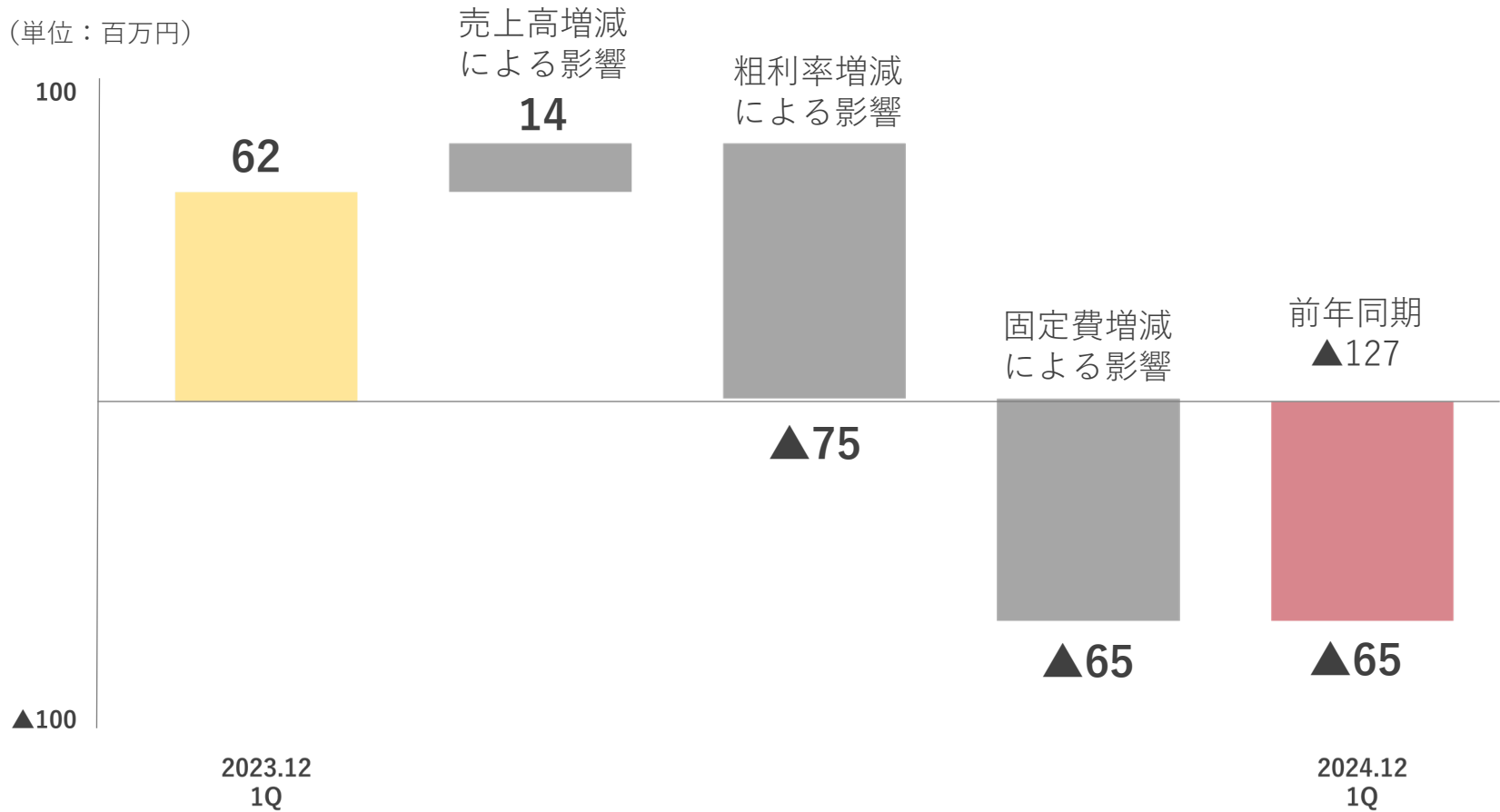
## 売上高・営業利益（四半期推移）

主力の金融ソリューション事業での一部、納期ずれが生じたものの、第1Q比較での売上高は、着実に伸長。今後の受注状況により、売上及び利益額増加を目論む。

(単位：百万円)



コストの増加により粗利が減少した結果、前年同期比で1.27億円の利益減少。



# 貸借対照表

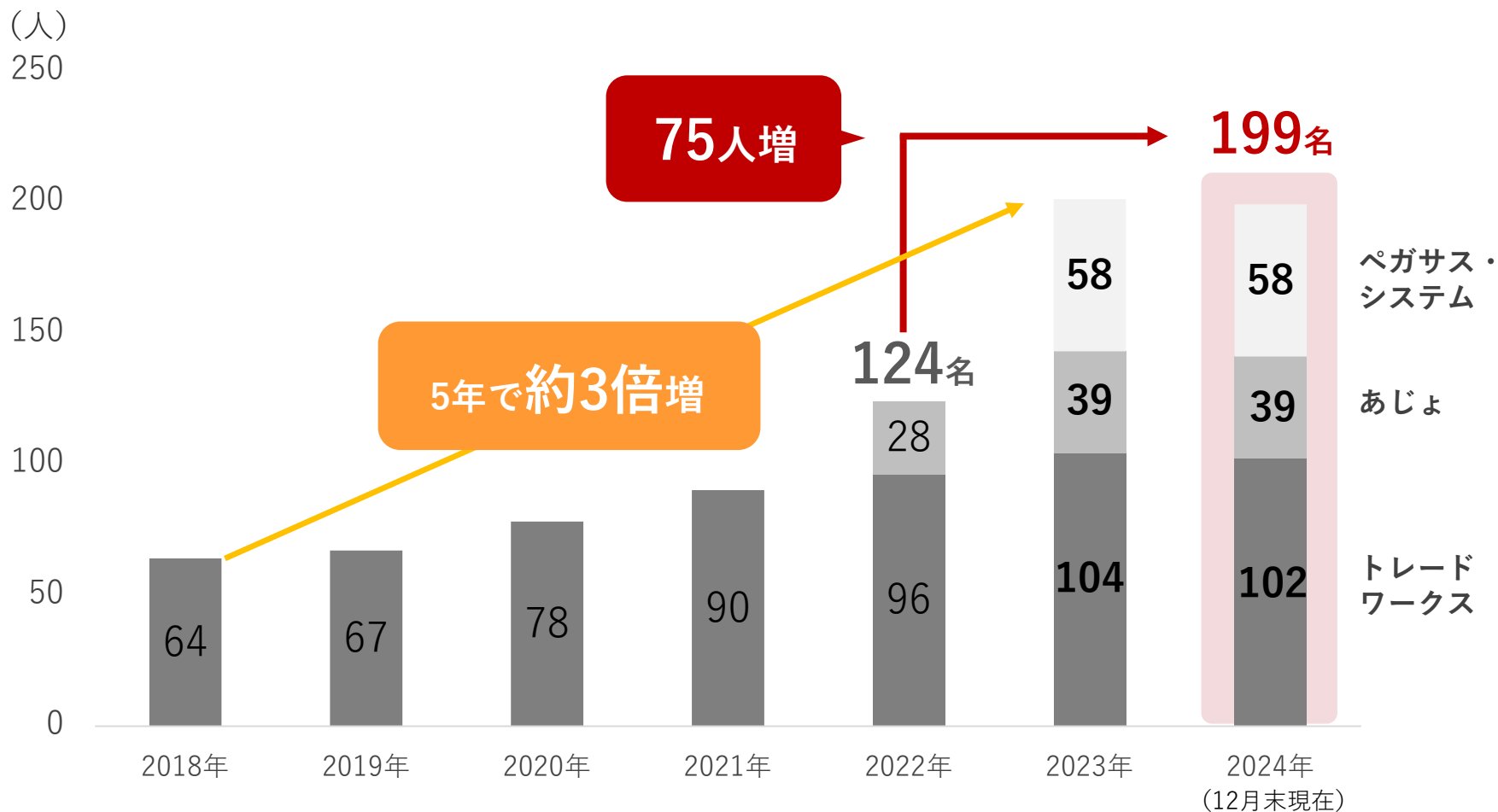
(単位：百万円)

	2023.12期	2024.12期 1Q	増減額
	連結	連結	
<b>流動資産</b>	<b>1,824</b>	<b>1,496</b>	<b>▲327</b>
現金及び預金	615	626	11
売掛金	728	516	▲212
<b>固定資産</b>	<b>1,219</b>	<b>1,160</b>	<b>▲58</b>
有形固定資産	275	281	5
無形固定資産	403	372	▲30
投資その他の資産	540	507	▲33
<b>資産合計</b>	<b>3,043</b>	<b>2,656</b>	<b>▲386</b>

	2023.12期	2024.12期 1Q	増減額
	連結	連結	
<b>流動負債</b>	<b>1,047</b>	<b>861</b>	<b>▲186</b>
買掛金	176	178	1
未払法人税	25	19	▲6
<b>固定負債</b>	<b>610</b>	<b>582</b>	<b>▲27</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,385</b>	<b>1,212</b>	<b>▲172</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,043</b>	<b>2,656</b>	<b>▲386</b>



2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化したことより、エンジニア数は75人増加の199名に。



\* 当社は2022年3月に株式会社あじよを2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化しております。これに伴い、2022年から連結の人数を記載しております。

# TOPICS

---

## 証券インターネット取引システム「TradeAgent」の新シリーズ ソフトウェアパッケージ「TradeAgent NanoCask」を開発



金融事業参入の高い障壁

開発コスト

運用コスト

次世代金融パッケージ

**TradeAgent NanoCask**

コネクティビティ

拡張性

サービスの構築に際して直面する  
事業者の課題を解決することが可能に

今後「TradeAgent NanoCask」をベースに、  
次世代金融に挑戦される金融事業者、Fintech企業、  
スタートアップ企業への導入・利用会社拡大に向けた活動を行い、  
新たなビジネスチャンスを創出することを支援

# 株式会社 SBI ネオトレード証券向け 証券インターネット取引向け株式ツール 「ネオトレ API for Excel」 提供開始

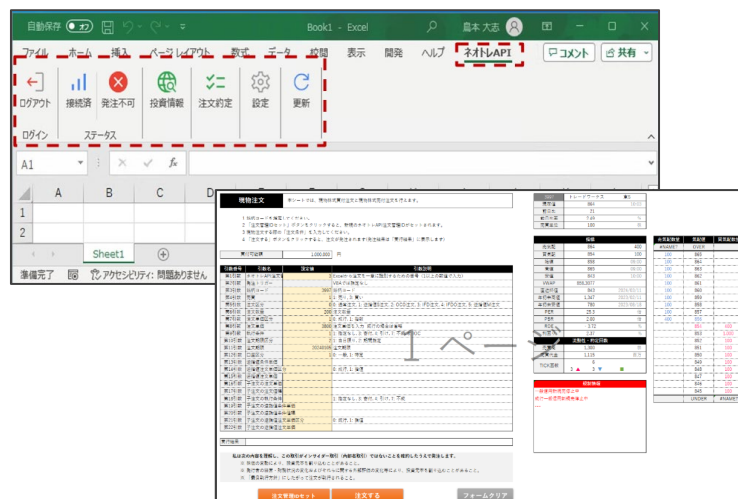
## ネオトレAPI for Excel

操作マニュアル内の関数一覧を参照しながら  
投資家様オリジナルのスプレッドシートを作成

アイデア次第  
でさまざまな  
発注手法が  
可能

- 複数の銘柄の一括発注
- トレール注文
- 連続注文
- 入力補助機能を搭載

### ▼ Excel 上のリボン イメージ



### ▲ Excel サンプルシート

VBAやマクロの知識があれば、専用の関数を組み合わせることで  
投資家様独自の取引手法を実現することが可能

## 株式会社ドキドキグルーヴワークスとの セキュリティ診断サービスに関する業務提携契約締結

### 株式会社ドキドキグルーヴワークス

デジタルコンテンツの企画、開発からソフトウェアテスト、運営、サポートまでワンストップでサービスを提供。ソフトウェアテスト部門、開発部門、運営部門が三位一体となった組織体制がサービスの強み。



### 業務提携の内容

- ① 営業活動の推進
- ② 脆弱性診断サービスの提供
- ③ スピード感と安心・安全を担保した開発・運営サービスの提供

当社サイバーセキュリティ技術が、ドキドキグルーヴワークスが有する豊富な営業ナレッジと優良な顧客基盤により、今後更に期待されるDX化への推進と、これに伴う経済活動に大きく貢献

## 事業環境認識・当社の取り組み

---

## 当社の主軸である金融・証券業界のIT投資意欲は、 コロナによる制限緩和後も旺盛

フィンテックによる金融業界  
新規参入業者の増加



5G通信の商用サービス  
国内4キャリアでスタート



働き方改革で  
自動化・効率化・省力化等の  
システム投資への需要が高まる

金融システムの  
セキュリティに関する事案の増加



証券会社システム強化への  
機運の兆し



## 2024年12月期の位置づけ

2026年の中計最終年度に向けて成長投資を加速しつつ、収益力向上を急ぐ

**成長、飛躍への基盤整備**

+

**業績拡大の継続・収益力向上**

5年間で2.4倍の企業規模への拡大を目論む中期計画において、3年間で1.6倍の成長が必要。想定通りのスピードで計画遂行中であり、業績向上と将来の飛躍の両面を堅実に実行。

## 重点施策

### 前期に掲げた以下の施策を継続強化

- ① 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ② 新事業の収益化。パートナーシップにより準備を進める新ビジネスの育成
- ③ 良好に進捗中の人員拡大を活かし、売上規模と生産性の向上を図る
- ④ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出
- ⑤ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発



## 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大

---

- 積極的なIT投資需要に対し、既存・新規顧客への新規案件の提案を強化
- テクノロジーと金融知識を持つ専門性の高い企業として「事業領域の拡大」及び「ビジネスモデル転換」を継続し、規模・収益力の拡大

## 次世代のデジタルコマースの創生

---

- 新デジタル時代におけるEコマースの多様化、仮想空間の一般実用化、AIや高度通信技術の発展による様々な変革に対応するため、金融システム開発で培ったコア技術をベースとしたプラットフォーム/ソリューションの新たなビジネスを展開
  - ・ ECプラットフォーム（クラウドECプラットフォーム『Emerald Blue』）
  - ・ AR/VRコンテンツ

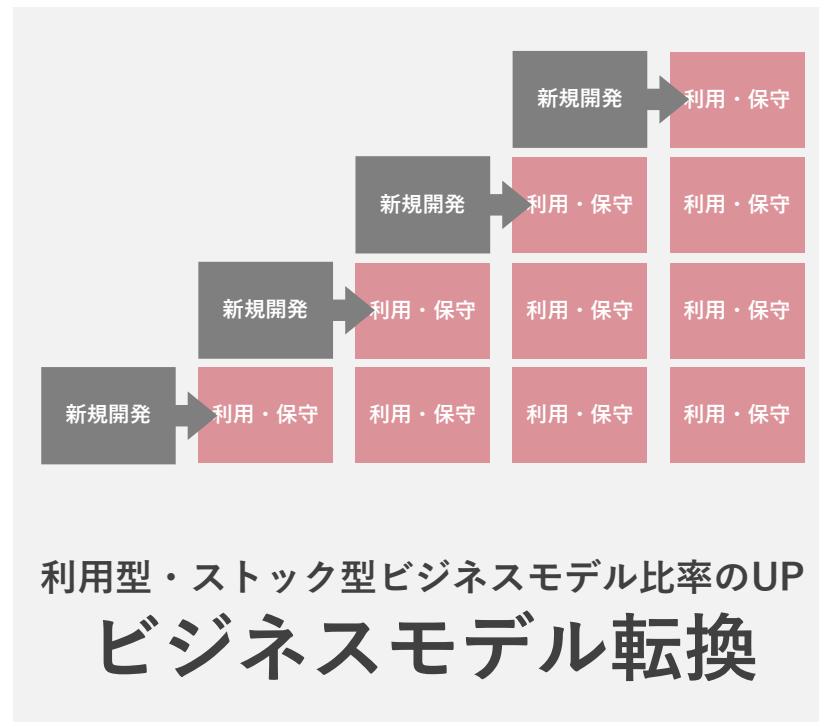
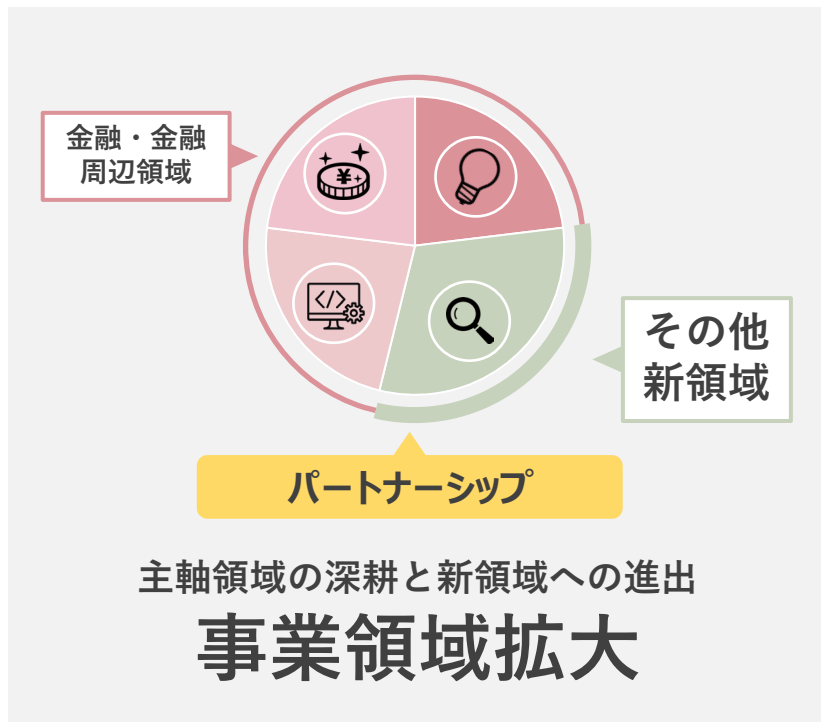
## 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出

---

- DX（デジタルトランスフォーメーション）による、企業文化、組織、風土の改革を推進

## 持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団



2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

## 2024年12月期 業績予想

---

事業拡大を進め、売上高17.2%の増収を計画。  
成長投資を強化しつつ前期比増益を計画。

(単位：百万円)

	2022.12期 連結	2023.12期 連結	2024.12期 連結 (予)
売上高	3,270	3,753	<b>4,400</b>
営業利益	318	31	<b>180</b>
経常利益	327	41	<b>180</b>
当期純利益	200	▲53	<b>110</b>

\* 当社は、2022年3月に株式会社あじよを子会社化。2023年7月にペガサス・システム株式会社を子会社化。  
これらに伴い2022年第1四半期より連結決算をおこなっております。

経営基盤の強化を最優先し、  
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

## 1株あたり20円を予定

	2022.12期	2023.12期	2024.12期 (予)
配当金 (1株)	15円	20円	20円

ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年

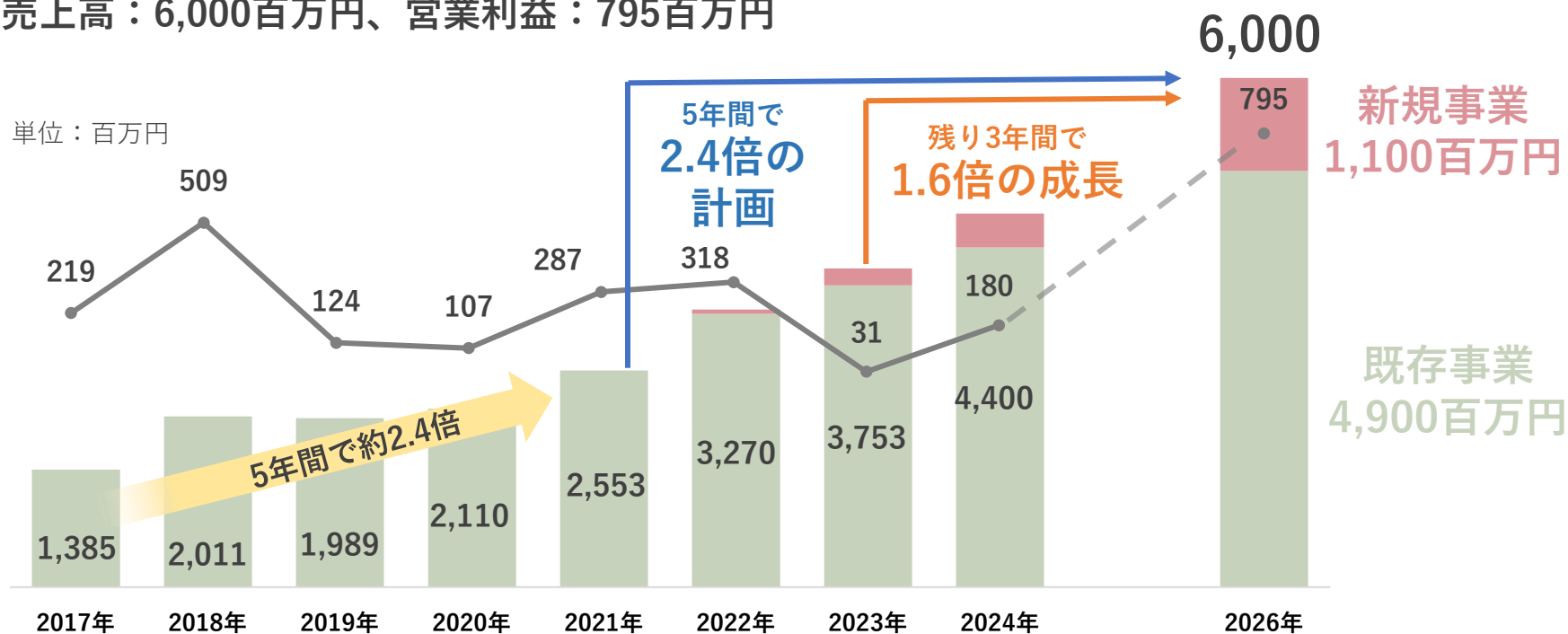
---

永続的な成長の礎を築くための計画として、2022年12月期を初年度とし、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定。

テクノロジーファーストを遂行し、金融領域 +  $\alpha$  で  
2021年12月期比、2.4倍の企業規模を目指します。

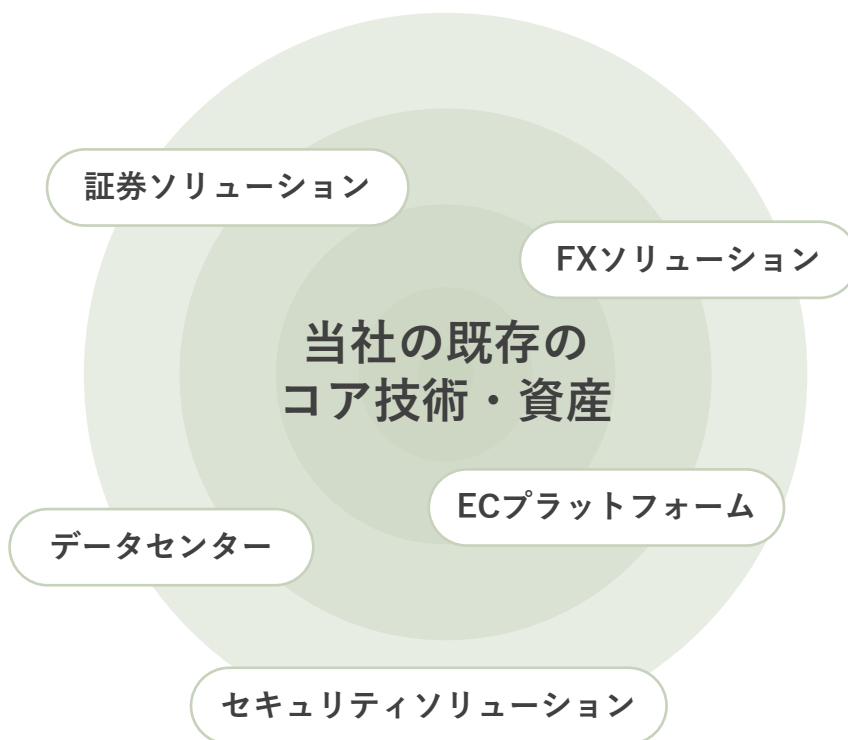
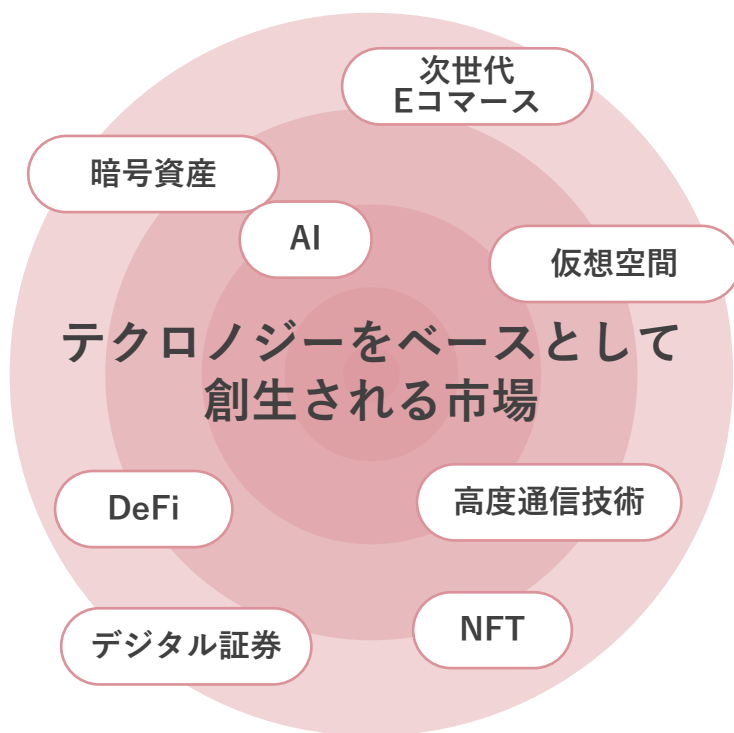
2026年12月期目標

売上高：6,000百万円、営業利益：795百万円



## 当社の目指す姿

次世代金融、新デジタル時代を見据えた  
テクノロジー・ファースト型の企業成長





## 目標数値

### 既存事業におけるストック率の向上

---

- ストック売上高目標 **3,074**百万円（2023年12月期：2,445百万円）
- 既存事業におけるストック売上高比率 **62.7%**（2023年12月期：65.1%）

### 新規事業の育成

---

- 新規事業売上目標 **1,100**百万円

### 金融知識を有するエンジニアへの継続的な採用

---

- エンジニア数 **210**人（2023年12月期：201人）

## 6. appendix

---

## 技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

### 技術

- 最新テクノロジー
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド



### 金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



## ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



技術者育成 + 環境整備  
全社横断 品質・生産性向上

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス

〒107-6110 東京都港区赤坂5丁目2番20号

赤坂パークビル10階

TEL :03-6230-8900 FAX:03-6230-8901

<https://www.tworks.co.jp/>